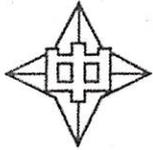


令和6年度 さいたま市立与野南中学校 学校だより

みなみかぜ



南風

第9号

令和7年 1月 7日発行

<http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp>

<学校教育目標> 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

行動から始まる、サフランイエローの輝き！

校長 正田 真由美

新年あけまして おめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

学校だより第8号にも書かせていただきましたが、12月中も学びや行動面から、それぞれの学年のステキなキラリと輝く場面をたくさん感じることができました。

6組では11月29日に小・中合同交流会があり、与野南小学校と大戸小学校の特別支援学級のみなさんが与野南中学校に来校して交流会を行いました。交流会の内容の企画や当日の準備・運営・片付けまで6組全員で話し合って決め、実施しました。パワーポイントでの学校紹介やゲームの進行など、小学生のみんなが楽しめるように取り組んでいました。小学校の先生方から「さすが中学生ですね。午前中、楽しかったです。ありがとうございました。」という言葉いただきました。6組のキラリがたくさん見られた時間でした。

1年生は、2学期の大掃除の時間にキラリの心遣いが感じられました。職員室前の階段掃除に来ていた班での出来事です。掃除が終わる時間の少し前に大掃除だから自在ほうきのゴミを取っている時、小ぼうきと塵取りを使って一緒に掃除をしていた人が自分の分担の掃除が終わって立っている人に「小ぼうきと塵取りを持って来て。」と声をかけました。もう一人が小ぼうきを持って来て、立っているのを見て「それでこっちのゴミ取って！」と言い足しました。みんなで早く掃除を終わらそうという気持ちからの一言だったと思います。ちょっとした心遣いだけど、サフランイエローに輝いて見えた時間でした。

3年生は、終業式の日学年集会の時間に学級委員が企画して、2学期の振り返りから3学期の卒業式に向けての気持ちの面と行動面のあり方を学年のみんなに伝えていました。さすが3年生で、自分たちの良くない現状を変え、お互いのことを考えながら3学期過ごしたい気持ちが伝わってくる発表でした。同級生に向けて、きちんと話すことはすごく大変なことだと思うので、その姿勢が格好良く、さすが3年生だと思いました。キラリ、サフランイエローに輝いていました。3学期、学級委員を支え、学年で実行してくれることに期待しています。

2年生は、授業で取り組んでいた「さいたまエンジン」【さいたま市内の企業が学校を訪問し、授業を通して中学生が企業と協働して、イノベーションを起こす探究学習プログラム。】で、各クラスの予選を勝ち上がった4チームがファイナルプレゼンテーションの場としての「さいたまカップ2024」に冬休み1日参加しました。大宮国際中等教育学校会場で、市内中学校7校27チームが参加し、午前中の1stステージは4ブロックに分かれてプレゼンで競いました。午後のスタートに各ブロック予選の結果が発表され、与野南中は2チームが2ndステージに残り、市内の中高9校から選ばれた36チームの代表生徒と、協力企業15社の方々の前で再度プレゼンしました。2ndステージのプレゼンでは、午前中よりも緊張しましたが頑張り、1チームがみごとグランプリに選ばれ、さらにキラリ、サフランイエローに輝きました。このプレゼンには、学校の体育館で発表した時は緊張と恥ずかしさがあって、分かりづらいと言われたという話があり、そこから各チームが自分たちでプレゼンの仕方を考えて本番に臨んでいます。チームで協力して自分たちの力を発揮できたことは、とてもステキなことだと思います。

また、昨年度に参加した3年生が発案した「地層グミ」も商品化されることになりました。

今年も様々な場面で、与野南中生がキラリする姿をたくさん見せてくれることを楽しみにしたいし、キラリに気づける自分でありたいと思います。

